

Lee Side 海の歌、ほか

1. 海メドレー

海にちなんだ、そしてミナトヨコハマにちなんだ4曲を小林正明氏がアレンジ。

1979年に大ヒットした演歌「①おやじの海」に始まり、海の安全を守る灯台守夫婦の戦前から戦後に至る25年間を描いた長編ドラマの主題歌「②喜びも悲しみも幾歳月」(1957年)が続きます。そして横浜市磯子区生まれの昭和最大の歌姫・美空ひばりによる「③港町十三番地」(1957年)。最後にダウン・タウン・ブギウギ・バンドのミリオンセラー「④港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」(1975年)で締めています。

①作詞・作曲:佐義達雄、②作詞・作曲:木下忠司、③作詞:石本美由起、作曲:上原げんと、

④作詞:阿木耀子、作曲:宇崎竜童; 編曲:小林正明

2. Deep River 黒人霊歌 編曲:篠田昌伸

この歌は、作詞・作曲者共に不詳のアフリカン・アメリカンの黒人霊歌です。しかし、歌詞には深い意味があります。歌詞に登場するヨルダン川は、イスラエル、レバノン、シリアの国境が接するゴラン高原周辺を水源とし、北から南へ流れ、ガリラヤ湖を経て死海へと注いでいます。旧約聖書(出エジプト記)に出てきますように、虐げられたイスラエルの民が神の命を受けたモーセに率いられてエジプトを脱出し、神との約束の地、カナンを目指します。その為には、ヨルダン川を渡らなくてはなりません。そこは、神がアブラハムの子孫に与えると約束した土地カナンで、聖書では「乳と蜜の流れる場所」と描写されています。

3. Away from the Roll of the Sea 作詞・作曲: Allister MacGillvray、編曲:篠田昌伸

この歌は、カナダ生まれのシンガーソング・ライターでギタリストのMacGillvrayの作品です。彼の1000以上の作品は特に合唱曲として親しまれ、世界中の600以上の合唱団が好んで彼の歌を取り上げています。特にこの曲はイタリアの男声合唱団Coro Leone Bolognaやthe Northern Arizona University(NAU) Men's choraleが得意とする、大変美しい曲です。国立台湾大学の演奏するYouTubeは「世紀尋跡 無垠聲情:時代を超えた旅 無限の響き」と説明されています。

荒海の航海を終えて港に停泊している古びた小船が、酸いも甘いも噛み分ける団員の人生と重なります。

4. Michael, Row the Boat Ashore (漕げよマイケル) 採譜・編曲:大町正人

黒人霊歌です。アメリカ独立戦争のころに、サウス・カロライナ州のセント・ヘレナ島で初めて注目されました。連邦政府の海軍がこの島を閉鎖する前に島を去った元奴隷たちが歌っていたものです。それをこの島を管理するために訪れていた奴隷制度廃止論者でハーバード出のチャールス・P・ウェーアが作詞作曲しました。

5. 日本丸船歌 作詞:長田恒雄、作曲:小宮山繁、編曲:石黒孝子

練習帆船日本丸は、1930年に建造され、海王丸とともに多くの船員を育てました。第二次大戦後は、輸送船・引揚げ船としても用いられ、1984年に引退し、横浜港に繋留されています。

この歌は、練習船帆船日本丸の若き船乗りをたたえる歌で、寄港の際にはよく歓迎演奏が行われます。当合唱団が2010年に山口県徳山下松港で日本丸(二代目)を迎えたときにも、埠頭に整列し、演奏しました。

1) 青空高く晴れ渡り、海紺碧に澄み通る いま純白に輝きて、駆ける勇姿ぞ日本丸

ホウ若人よ、若人よ、征け、征け、征け

- 2) 雄々しき姿日本丸、乗り組む我ら若人の心の帆綱引き締めて、波風来たれいざ発たん
- 3) 海に始まり海に着く、我らの祖国守るため 三十五枚の帆に掛けし、我らの意気はいや高し
- 4) 大海原は波高く、風飄々と当たるとも、腕組み合える若人の、熱き血潮に幸あれや
- 5) 浪路の果てに至る日も、遠き異郷に在る時も、希望の船よ日本丸、我らの力日本丸

6. ひょっこりひょうたん島 作詞：井上ひさし・山本護久、作曲：宇野誠一郎、編曲：石黒孝子

1960年代に大人気を博したテレビ人形劇のテーマソング。これを見るために子どもたちは道草を早めに切り上げたとか。ドン・ガバチョ、トラヒゲなどの個性的なキャラクターに加え、島自体が漂流しているという設定に心躍らせ、見入った人も多いのではないのでしょうか。苦しいことにも、悲しいことにもくじけず、元気よく歌います。

7. 上を向いて歩こう 作詞：永六輔、作曲：中村八大、編曲：ボニージャックス

昭和36(1961)年に坂本九が歌った世界的ヒット曲。作詞、作曲、歌の三名は、六八九トリオと呼ばれました。国内でのヒットにとどまらず、「SUKIYAKI」と題し、世界中で発売され、昭和38(1963)年には、米国音楽誌ビルボードのシングルチャートで3週連続1位を獲得、アメリカのみならず世界中で大ヒットを記録し、ゴールドレコードを授与されました。これは日本の歌が初めて世界的ミリオンセラーになった快挙です。(参考：JR川崎駅前の記念碑)

8. Aloha Oe 作詞・作曲：Lili'uokalani、編曲：篠田昌伸

ハワイ王国第8代女王リリウオカラニ(1838-1917)によって作られた歌。ハワイを代表する曲として世界中で広く親しまれています。

恋人同士の別れを歌ったこの曲ですが、解釈は広く、リリウオカラニ女王が宣教師入植者によって退位させられたこともあり、葬送歌として歌われることもありました。しかし、カナカ・マオリ(ハワイ先住民)と島民のミュージシャンたちは、アロハ・オエをハワイ先住民のアイデンティティとして位置づけ、歌い継がれています。